

【中国・四国地区，全国高等学校PTA連合会大会参加報告】

～第65回 全国高等学校PTA連合会大会岩手大会～

平成27年8月19日～21日，岩手県盛岡市で開催された第65回全国高等学校PTA連合会大会にPTA石田会長様が参加して下さいました。『未来圏からの風をつかめ！～新時代を担う君たちと共に～』というテーマのもと，全国からPTA関係者が集い，子供達の未来についての研究・協議が行われました。



〈全体会場〉



〈分科会 会場〉



全体会場入口にて

分科会では、社会問題となっている『スマートフォン・ネット依存と若者の生活スタイル』について、現役高校生と大学生の発表がありました。「ネットいじめ」等により、悩める若者の生の声が伝えられ、保護者として今後どう子供と関わっていくべきか、大変考えさせられたそうです。



〈中尊寺〉

～第57回 中国・四国地区高校PTA 連合会大会～

PTA副会長 黒石紀子

平成27年7月10日、第57回中国・四国地区高校PTA 連合会大会 岡山大会が岡山市民会館にて開催されました。全国から1,700名の参加がありました。

午前の講演会は、竹内昌彦先生の『私の歩んだ道』～見えないから見えないもの～でした。岡山は、昭和43年3月18日、三宅精一氏が世界で初めて点字ブロックをつくった地だそうです。点字ブロックは、『止まれ』『進め』をあらわしています。盲人をサポートする人は右手につかまってもらいます。サポートする人が車道側に歩くことになるからです。また、右手につかまってもらうことにより、階段の上り下りの時、ひじが上がるから、盲人によく分かるそうです。あと横断歩道ですが、『…かつこうー。…かつこー。』の音は東西、『…ぴよ。…ぴよ。…ぴよ。』の音は南北を示しているそうです。

さて、竹内先生の生い立ちですが、高熱のために目が不自由になりました。いじめにあいましたが、竹内先生も負けずに反撃しました。その後、恩師、両親の深い愛情、近所の『おばちゃん』の人情に支えられ、盲学校の先生になりました。結婚のとき、奥様のお父さんに反対されましたが、それを乗り越え結婚。長男を授かったものの、長男は脳性マヒと診断されました。当時障がい児保育はなかったのですが、あゆみ保育園というところが、岡山市にかけ合って、『市』で初めて障がい保育を引き受けてくれたそうです。それから、長男は7歳で死にます。長男は、どんなにお父さん、おかあさんと言いたかっただろうに。お父さん、お母さんと言えなかったという思いが、竹内先生にはありました。

『母なれば 百年生きて 弱き子の 添え木となりし 朽ち果てるまで』

会場にはすすり泣く人の声が聞かれ、ハンカチで涙をふいている方がおられました。私自身も涙がこぼれ、涙がそれ以上こぼれないように、目を閉じていました。

400人のうち約1人は目の見えない人、400人のうち約1人は耳の聞こえない人、約20人は身体に障がいのある人、約380人は健康な人である。目や耳や身体に障がいのある人約20人は、健康な人約380人のために障がいを引き受けている。

さて400年前、杉山和一という方が、『はり』の勉強をして、将軍にさしていたそうです。そのときから、日本にあんま・はり・きゅうが広がっていったらしいです。外国にはその職業はありません。竹内先生は、モンゴルにあんま・はり・きゅうの学校の設立のために、支援金を4年前に寄付したそうです。今後は、キルギスにもあんま・はり・きゅうの学校を設立したいそうです。

午後の研究協議を質疑応答を含めて箇条書きでまとめてみました。

① 進路指導とPTA(鳥取県)～NPO法人倉吉おう水館の設立～

○NPO法人倉吉おう水館は昭和36年に設立。国公立・有名私大への進学率が高く、雑誌で掲載されたことがある。(ベスト10)

○チューター制度をとり、先輩から先輩の目線で、新生にアドバイスしている。

○韓国の安養(あなん)高校と交流している。

○PTA活動の名前は育友会…ブログは有志から始まり、それが活性化していく。

現在予算は年5万円。

○倉吉東高校専攻科廃止、倉吉東高校専攻科補習科設置(平成25年)にともない、閉館に追い込まれた時期もあったが、署名活動により、平成25年3月開館となる。

○6:30～20:00まで毎日教室は開放されている。

② 生徒指導とPTA(広島県松永高校)～忍の一字で見守るPTA～

○保護者の覚悟(学校の方針を理解・共感)

○保護者が認める(学校の先生に任せる)

○忍=見守る(ノークレーム)

◎それらの結果、3年間で変化を遂げる。

③社会貢献活動とPTA（岡山県工業高校）

○商店街（奉還町）の店舗を『りぷら』としてオープン。

商店街のご好意で、店舗の借用料・電気代は無料。

○国際ソロプチミスト関連で賞をもらう。

◎成果…（1）大震災被災地への募金・手紙

（2）奉還町商店街の活性化

（3）生徒の意識の内面の変化

（4）保護者の意識の内面の変化

（5）教職員の意識の内面の変化

◎課題…（1）参加生徒の偏り

（2）被災地訪問の実現

最後になりましたが、この中四国PTA大会に参加させていただき、ありがとうございました。講演会では、私自身の叔父；右手を交通事故でなくした叔父と、私が20代の時に親しかった耳の不自由な男性をまざまざと思い出しました。2人とも亡くなってしまいましたが、竹内先生の、『目や耳や身体に障がいのある人約20人は、健康な人の約380人のために障がいを引き受けている。』というくだりが、私を大きな支えにしてくれたと思いました。また、各高校の素晴らしいPTA活動、高校生たちの堂々たる発表、PTA役員及び関連者の方たちと話をする機会をもつことができ、とても有意義な大会でした。本当にありがとうございました。

**黒石副会長様、石田会長様お忙しいなか、ご参加下さり
ありがとうございました。**

